

其後身延山へ分け入つて山中に居し、法華經を昼夜読誦し奉り候へば、三世の諸仏・十方の諸仏・菩薩も此の砌におはすらん。釈迦仏は靈山に居して八箇年、法華經を説き給ふ。日蓮は身延山に居して九箇年の読誦也。伝教大師は比叡山に居して三十余年の法華經の行者也。然と雖も彼の山は濁れる山也。我が此の山は天竺の靈山にも勝れ、日域の比叡山にも勝れたり。然れば吹く風も、ゆるぐ木草も、流るる水の音までも、此の山には妙法の五字を唱へずと云ふことなし。日蓮が弟子檀那等は此の山を本として参るべし。此れ則ち靈山の契也。此の山に入つて九箇年也。仏滅後二千二百三十余年也。

（弘安五年十月七日）